

11ひきのねこ
馬場のぼる 著



こぐま社 1967年 1200円

いつもお腹がペコペこの11匹のねこは、怪物みたいな大きな魚がいると聞き、いかだを作つて捕まえに行きました。魚は大きすぎて歯がたちませんが、「ねんねこさっしゃれ」の子守歌で寝かしつけ、とうとう捕まえるのに成功します。ねこたちは、帰つてみんなに見せるまでは食べないと約束するのですが…。マンガ風の絵と愉快な話が子どもたちに大人気です。シリーズは「11ひきのねことあほうどり」「11ひきのねことぶた」など全6冊です。

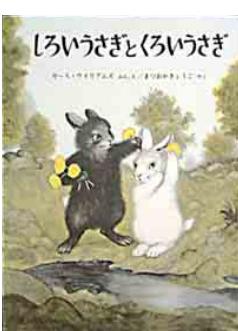
14ひきのあさごはん
いわむらかずお 作



童心社 1983年 1200円

森に住む14匹のねずみの家族が、朝起きてからあさごはんの用意をして、みんなで食べるまでを描いています。文はごく少ないので、丁寧に描かれた、木の中の家の様子や森の生き物たち、14匹それぞれの表情や動きをじっくり眺めるのが楽しい絵本です。細部を見つけるのが上手な子どもたちは、すぐに14匹の名前を覚えて楽しむでしょう。シリーズは「14ひきのひっこし」「14ひきのやまいも」などがあります。

しろいうさぎとくろいうさぎ
ガース・ウイリアムズ 文・絵
まつおかきょうこ 訳



福音館書店 1965年 1100円

しろいうさぎとくろいうさぎはいつも一日中一緒に楽しく遊んでいました。あるとき、くろいうさぎがじっと考え込んで悲しそうな顔をしました。しろいうさぎといつもいつもいつまでも一緒にいたくなつたからです。墨絵風の濃淡の絵の中に、うさぎのやわらかな毛や豊かな表情がいきいきと描かれています。